

滋賀県議会だより



No.110

編集・発行 / 滋賀県議会

11月定例会議の概要

11月29日～12月21日の23日間

11月定例会議では、新型コロナウイルス感染症への対応として、滋賀県安心ケアステーションの開設や事業継続支援金の増額など、引き続き、時期を逸することなく必要な施策を講じるための経費のほか、琵琶湖文化館の整備にかかるPFIアドバイザー業務など、年度内に緊急に処理を要する経費の増額などを行うため、総額12億3,267万9千円を追加する「令和3年度滋賀県一般会計補正予算(第12号)」やPCR等検査無料化事業の実施や生活福祉資金貸付金の事業期間の延長、また、看護、介護などの

現場で働く方々の収入の引上げのための経費や防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策に対応した公共事業の追加、原油価格高騰の影響を受ける県内事業者の皆様に対し、国が実施する施設園芸生産者や漁業者のセーフティネット構築事業の積立金を支援する経費など、総額282億9,803万9千円を追加する「令和3年度滋賀県一般会計補正予算(第13号)」など、知事提出議案22件と議員提出議案1件が上程されました。

各委員会では、付託された各議案、その他所管事項について審議等を行いました。

これらの審議の結果、意見書案1件を否決したほか、いずれも原案のとおり可決または同意しました。また、9月定例会議において継続審議とされていた令和2年度滋賀県歳入歳出決算の認定を求めると等について、認定または可決しました。

11月定例会議における 質疑・質問から

医療・感染症対策

問 新型コロナウイルス感染症のワクチン接種による副反応の正確な情報提供と副反応が出た方への対応および3回目のワクチン接種について伺います。

答 ワクチン接種の副反応と疑われる症状については、国において専門家による調査と評価が行われており、県としては、これらの情報収集に努め、わかりやすく県民の方に情報を発信してまいりたいと考えています。

さらに、副反応に悩まれる県民の方が受診につながるよう、引き続き、副反応相談窓口を設置するとともに、健康被害救済制度を活用できるよう改めて周知を図ってまいります。

また、3回目の追加接種については、ファイザー社製ワクチンの供給不足が見込まれており、国に対し追加配分を要望していますが、多くの高齢者の方に交互接種をお願いする必要があると考えています。

県としても、国に対し交互接種における安全性・有効性について丁寧な説明を求めており、市町における間違い接種を防ぎ、交互接種が確実に実施できるようしっかりと支援してまいります。

水産業

問 生産量や消費量の減少に加え、新型コロナウイルス感染症の影響により大きな打撃を受けている本県水産業の現状および課題解決に向けた対応について、認識を伺います。

答 琵琶湖漁業の令和元年の漁獲量は81トンと依然低迷した状況です。琵琶湖の漁業者は、平成30年の統計によれば、6割が65歳以上であり、今後、高齢化による減少は避けられない状況です。

流通面については、全国的にいわゆる「魚食離れ」の状況がある中、とりわけ琵琶湖産魚介類は、地域性が強く、認知度が低いことなどから、「魚食離れ」の傾向が顕著で、湖魚の流通は縮小しており、魚価が低迷しています。

従来の固定化された流通体制が新しい商取引に対応しにくいことや、琵琶湖漁業全体で戦略的に販売する流通体制がないことが、魚価の低迷の主な原因となっており、このことが漁業収入の低下につながり、若い人が就業しにくい状況となっています。



えり漁業の様子

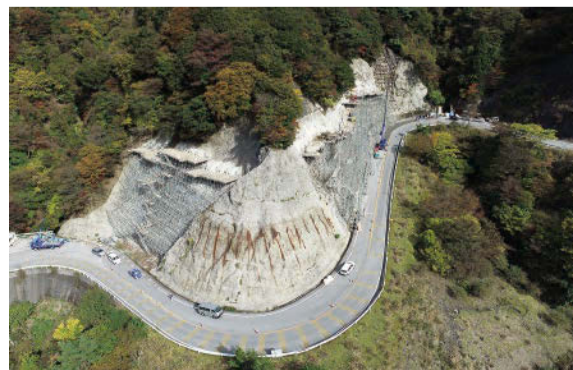
道路・河川政策

問 自然災害の激甚化・頻発化、インフラ施設の老朽化への対応など、県民の安全・安心な生活を支える強靱な道づくり・川づくりの更なる推進に向け、改めて決意を伺います。

答 近年災害が激甚化・頻発化する中、道路整備については、災害に対し強靱で信頼性の高い道路ネットワークの構築が必要と考えており、幹線道路のダブルネットワーク化や4車線化、のり面対策などを積極的に進めてまいります。

また、橋梁の老朽化については、ライフサイクルコストの低減や持続可能な維持管理を実現するために、これまでの事後保全対策から予防保全対策による道路メンテナンスへの転換を目指します。

河川整備については、引き続き、天井川の切り下げや河道の



国道306号(大君ヶ畑)の工事の様子

環境政策

問 伊吹山や霊仙山などで土砂崩れが発生し、原因が二ホンジカによる影響と言われているが、また、二ホンザルによる被害も発生していますが、それぞれの被害状況と対策および獣害に対する長期的対策について伺います。

今後、国や市町と連携・協力し、先に閣議決定された国の経済対策を含め、国の5か年加速化対策や関連する地方財政措置を積極的に活用することで必要な予算を確保し、持続可能で強靱な道づくり・川づくりを推進してまいります。

答 伊吹山や霊仙山では、ニホンジカにより貴重な高山植物や森林の下層植生の食害が発生しています。

これらの地域では、守るべき植生等を防護柵で囲い、ニホンジカの食害を防止し、また、山頂付近や麓でニホンジカの捕獲を行うことで、植生の回復を図っているところです。

また、ニホンザルによる住民への威嚇、家庭菜園等の被害、屋根瓦の破損、住居侵入などの生活環境被害が発生しています。

私たちは、豊かな自然に囲まれ、その中に生きる多種多様な生きものから食や癒しなど多くの恩恵を受けており、人との軋轢が生じている野生鳥獣とも、長期的には共生を目指すべきものであると考えています。

さらに、今の時代だけでなく次世代にもしっかりと引き継ぐため、「個体群管理」、「被害防除対策」および「生息環境管理」の3本柱の対策を総合的に実施するとともに、「ワンヘルス」の考え方にも通じる「人の健康」、「社会の健康」、「そして「やまの健康」をはじめとした自然の健康に全庁を挙げてしっかりと取り組んでまいります。

学校教育

問 現在、県教育委員会が取り組んでいる「教育と福祉が連携した支援体制整備事業」および児童生徒の健全育成に係る県と市町との連携について、その成果と課題および今後の取組について伺います。

答 昨年より「教育と福祉が連携した支援体制整備事業」を延べ6市で実施し、「スクールソーシャルワーク・スーパーバイザー」が派遣先の市のニーズに応じた取組を行ってき

ました。コロナ禍における子ども支援を行うため、「子ども弁当」が家庭に届けられる仕組みを作り、地域福祉との連携体制を構築することができたとの事例報告を受けています。

「児童生徒の健全育成のための県と市町の連携に関する協定」では、令和3年4月から、14の市町で協定に基づいた取組を開始し、これまで県立学校から「市町とどのように連携すればよいか分からない」という声もありましたが、協定の締結を機に窓口が明確となり、すぐにケース会議を実施したことで生徒支援につながったという報告を受けています。

今後、「教育と福祉が連携した支援体制整備事業」については、どの市町でも体制作りが効果的に図られるよう推進することが課題であり、これまでの実践事例を取りまとめ、各市町に広めていきたいと考えています。

また、児童生徒の健全育成のための県と市町の連携については、より実効性のある切れ目のない支援が行われるよう、県教育委員会として、学校や関係機関に周知を図り、さらに連携が深まるよう取り組んでまいります。

用語解説

- ※1 「ワンヘルス」・・・人、動物、環境の健康は相互につながっていると包括的に捉え、分野横断的な課題に対し、関係者が「ひとつの健康」の概念を共有し、連携してその解決に取り組むという概念。
- ※2 「スクールソーシャルワーク・スーパーバイザー」・・・福祉や教育について高い専門性と豊富な経験を持ち、スクールソーシャルワーカー（社会福祉士等の専門的な知識・技術を用いて、児童生徒の置かれた様々な環境に働きかけて支援を行う社会福祉士、精神保健福祉士等のこと。）に対しより効果的な支援方法について指導や助言を行う者。

議会トピックス

●議員定数検討委員会における検討結果

令和5年に行われる予定の県議会議員の一般選挙に向けて、議員定数等の在り方を検討してきた議員定数検討委員会（奥村芳正委員長）は、12月21日に検討結果報告を富田博明議長に提出しました。

検討結果の概要は以下のとおりです。議員の定数、選挙区および選挙区別定数は、今後、「滋賀県議会議員の定数ならびに選挙区および各選挙区において選挙すべき議員の数を定める条例」の改正により決まります。



<検討結果の概要>

- 議員の定数は、現行の44人とする。
- 選挙区は現行どおりとする。
- 各選挙区において選挙すべき議員の数は、(右の)表のとおりとする。

| 選挙区 | 定数 | 選挙区 | 定数 | 選挙区 | 定数 |
|-------|----|-----|-----|------|-----|
| 大津市 | 10 | 草津市 | 4 | 高島市 | 2 |
| 彦根市 | 4 | 守山市 | 3 | 東近江市 | 5 |
| 犬上郡 | 3 | 栗東市 | 2 | 日野町 | |
| 長浜市 | | 3 | 甲賀市 | 3 | 愛荘町 |
| 近江八幡市 | 3 | 野洲市 | 2 | 米原市 | 1 |
| 電王町 | | 2 | 湖南市 | 2 | 合計 |

●議会のペーパーレス化、ICT化の推進に向けてタブレット端末を導入

ペーパーレス化、ICT化の推進をはじめ情報共有や議会審議の充実・深化のため、県議会では、11月定例会議からタブレット端末を導入しました。

議案書、本会議・各委員会での配布資料は全て電子データ化し、今年度は試行期間として紙資料と併用して運用します。令和4年度から本格実施とし、原則、紙資料を廃止します。

また、導入後1年を目途にペーパーレス化の効果等を検証することとしています。併せて、タブレット端末の利用拡大などについて検討し、一層のICT化を図ることとしています。

11月定例会議で審議した主な議案

| 議案番号 | 件名 | 結果 |
|-------------------------|---|----|
| (知事提出) 議第119号～議第124号 | 令和2年度滋賀県一般会計および各特別会計歳入歳出決算の認定を求めることについて ほか5件 | 認定 |
| 議第143号 | 令和2年度滋賀県モーターボート競走事業会計未処分利益剰余金の処分に付き議決を求めることについて | 可決 |
| 議第159号～議第161号 | 令和3年度滋賀県一般会計補正予算(第12号) ほか2件 | 可決 |
| 議第162号～議第164号 | 滋賀県使用料および手数料条例の一部を改正する条例案 ほか2件 | 可決 |
| 議第165号～議第176号 | 契約の締結につき議決を求めることについて(草津用水2期地区笠縫用水路その1工事) ほか11件 | 可決 |
| 議第177号～議第179号 | 滋賀県収用委員会委員の任命につき同意を求めることについて ほか2件 | 同意 |
| 議第180号 | 令和3年度滋賀県一般会計補正予算(第13号) | 可決 |

11月定例会議で審議した意見書

| 番号 | 件名 | 結果 |
|---------|---------------------------------------|----|
| 意見書第14号 | 介護保険施設入所者等の負担を増やす補足給付見直しの撤回を求める意見書(案) | 否決 |

議会からのお知らせ

●滋賀県議会ホームページ、Twitter(ツイッター)

本会議や委員会の開催情報、議会の仕組み、議員の紹介、会議録など、県議会の最新の情報を随時掲載しています。また、本会議の様子はライブ中継と録画配信をしています。

スマートフォン等でも御覧いただけます。



滋賀県議会ホームページ

<https://www.shigaken-gikai.jp/>

滋賀県議会ツイッター

(アカウント名 @shigakengikai)

この印刷物は古紙パルプを配合しています